

松里公民館だより No6

令和 3年 9月

「松里の昔ばなし」

今月は藤木のはなしを掲載します。



「鍛冶屋橋の変遷」

松里と牧丘を結ぶ道路が笛吹川をまたぐ処に架けられた橋が鍛冶屋橋と呼ばれている。昔は橋の下は水も深く澄んでいて、川の水は晴れた日には、山女（やまめ）の群れが泳いでいるのが橋の上から見えるほど青かった。

昔秩父往還と言って、松里を通り窪平から三富を経て、雁坂峠を越え三峯神社にもうでたもので、今は甲府―熊谷線、国道一四〇号線と名称が変わった。明治から大正時代の橋は今の橋より下流で低いところに架けてあり、南側は石垣を積み出してそでを出し、北側の岩壁には自然に突き出ている岩石を利用して、太い木材を組み合わせて橋の桁の距離をせばめ四寸厚み位の橋板が張られ、らんかんには五、六寸の角材を使って風情を添えてあった。橋の太い組み立ての木材には、雨よけの薄い板がひさしの様に取り付けてあり、名橋猿橋を思わせた。大正末期道路改修により、橋は十五、六米ばかり上手に移し鉄骨板橋に改造されたが交通量の増加に伴い、昭和三十五年永久橋に架け替えられた。

明治大正昭和、鍛冶屋橋も時の流れとともに移り変わり衣替えをしてきた。此の橋の下流に新隼橋が造られ、さらにその下流に、今はその面影を止めるだけの吊り橋がある。松里と隼を結ぶ架橋であった。（原文のまま記載）

今月もコロナウイルスの感染に注意し生活しましょう

1年延期されたオリンピックも、山梨県関係の選手の活躍もあり日本のメダルラッシュで無事に終わりました。しかし、なかなか人流を抑えることができずに新型コロナウイルスの感染者数は最多を更新しています。8月12日には、知事から外出の自粛と飲食店等へ休業あるいは時短営業の要請が出され、20日から9月12日までまん延防止等重点措置が適用になりました。松里公民館も、8月14日から9月12日まで休館させていただいています。

県内のワクチン接種の状況は、65歳以上の方のほぼ9割が終了しています。しかし全年齢になると4割以下にとどまっています。新たなデルタ株はワクチン接種後の感染者も確認されています。今後もコロナウイルス感染拡大防止のため、公民館の使用制限や感染防止対策をしていかなければなりません。地域の皆様の御理解御協力をお願いいたします。

また、今後もコロナウイルスの感染拡大に十分注意していきましょう。

※公民館の使用について

- 使用の1ヶ月前から1週間前まで「使用申請」を受け付けます。
電話で結構ですので館長まで申し込んでください。
- 感染防止対策を徹底し、安全・安心に使用してください。

・使用時間は、午前9時から午後10時までです。

松里公民館 館長 飯島 節生
主事 小宮山茂樹

